

平成 30 年度 第 3 回産業医部会幹事会 議事録

日時：2019 年 2 月 9 日（土）13 時 - 16 時 20 分

場所：TKP 品川カンファレンスセンターミーティングルーム 6I

（敬称略）

出席：斉藤政彦、宮本俊明、西條泰明、原俊之、各務竹康、菅原保、福本正勝、谷山佳津子、加藤憲忠、服部真、石川浩二、遠田和彦、伊藤正人、森口次郎、杉原由紀、斉藤恵、小田原努、彌富美奈子、黒崎靖嘉

（監事）深澤健二

欠席：宇土博、岸本卓巳、中西一郎、松澤幸範

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認（資料 1）

石川幹事から報告があり、承認された。これを受けてホームページへ掲載することが確認された。

②専門医制度について（資料 2）

大神明専門医制度委員会事務局長より、日本産業衛生学会 産業衛生専門医制度における、指導医の役割を定めた「指導医マニュアル」が作成されたこと、またその趣旨、内容について説明がなされた。指導医が不足しているため、医部会への協力要請があり、了承された。

③2018 年度事業報告、2019 年度事業計画について（資料 3）

石川幹事から、事業報告案、事業計画案について説明し、承認された。

④2019 年度予算案について（資料 4）

加藤幹事から、予算案の説明があり、承認された。

⑤学会 100 周年を見据えたミッションと重点活動事項について（資料 5）

斉藤部会長より、学会から創立 100 周年に向けたミッションが出され、内容を紹介された。宮本副部会長より、9 月の理事会で進捗状況が報告されたことが紹介された。

⑥労働基準法第 36 条第一項に関連して出された指針案要綱について

政策法制度委員会から働き方改革関連法成立に伴い、労働基準法の改訂の指針案要綱における内容で産業医へ過度の負担がかかることの懸念に対して産業医部会としての見解を求められ、メール審議を行ったが、十分に議論されなかった経過が斉藤部会長より報告され、あらためて議論した。産業医の地位向上という捉え方がある一方で、嘱託産業医等では過度な負担に対する否定的な受け取り方が多い現状が紹介された。伊藤幹事から、事業者の労務管理が強調されるべきという意見が出された。杉原幹事から、公務員についての現状が報告された。医部会として意見をまとめ、政策法制度委員会へ返すこととなった。

⑦政策法制度委員会の提言について（資料 6）

森口幹事より、提言案について、12 月の理事会での意見を得て、追加修正を行い、学会 HP 等へ掲載して公表していくことが報告された。斉藤部会長より、医部会として本提言を各種研修会等で活用することが提案された。

⑧日本医師会との関係について

日医認定産業医が10万人を超え、また産業医の役割、責任の増大傾向がある現状で、日本医師会として産業医の組織化を図るという声明文が公表されたことが、斉藤部会長より、紹介された。福本幹事、宮本副部会長から、産業医の高齢化、地域偏在などの問題点が紹介された。今後、医部会として、医師会とどう連携していくか検討していくこととなった。

⑨部会勧誘のチラシについて(資料7)

斉藤部会長より、学会として会員増目的に、4部会共有のデザインの入会案内が作成されたことが紹介された。学会関連行事では新しい入会案内を利用すること、また従来の案内用紙は医部会行事で活用することが確認された。黒崎幹事から、チラシへホームページのQRコードの掲載、地方会行事の開催なども付記する案が出され、検討することとなった。

⑩幹事会メーリングリストについて

黒崎幹事から現状、問題なく運用できるようになったことが報告された。石川幹事より、CCで多くのアドレスを入れた場合は届かない可能性があることも報告された。

⑪ホームページの活用について

黒崎幹事より、各種学会行事を医部会HPへリンクを貼るタイミングが遅れる問題が提起された。また地方会行事については、編集委員会で作成した行事一覧を転用することとすることが確認された。

⑫ポスター賞選考について(資料8)

菅原幹事より、第28回全国協議会の審査結果の報告があった。次回以後の選考手順について確認があり、審査委員の欠員時には、前回開催地の幹事が担当することが確認された。過去の受賞者一覧を作成し、同一者の二回目の受賞についてはその可否については今後審査委員で議論して決定とする。また、審査委員を塚原次期幹事をお願いすること、第29回全国協議会の審査委員長は審査委員の中から選出していく案が提案され、承認された。

⑬部会員増へ向けての活動について

斉藤部会長より、1500名を超えたことが報告された。

⑭次回幹事会の日程について

名古屋の92回日本産業衛生学会期間中 5/23(木)13:30-16:30(編集委員会は12:30から)に開催の提案がなされ、承認された。次々回は仙台での全国協議会期間中 9月12日(木)午後となった。

2. 報告事項

①第28回全国協議会について

福本幹事より、開催報告があった。自由集会は嘱託産業医をテーマとして実施し、約130名の参加者があったことが報告された。

②第29回全国協議会について(資料9)

各務幹事、菅原幹事より、2019年9月12,13,14日に仙台国際交流センターで開催に向けて準備を行っていることが報告された。また医部会幹事会は12日午後、自由集会は13日午後実施する方向とすることが確認された。

③第30回全国協議会について

小田原幹事より、九州地方会で準備委員会が立ち上がったことが報告された。

④第92回学会（名古屋）における医部会フォーラムについて(資料10)

遠田幹事より2019年5月25日(土)13:30～の総会に続き開催予定であり、テーマを「産業医の勧告権」として予定していることが報告された。服部幹事より、発表内容の紹介があった。

⑤第93回学会（北海道）について(資料11)

西條幹事より、5/13-16旭川にて開催予定で準備していることが報告された。消費税増税に伴い、参加費は10000円を予定していることも報告された。

⑥プロフェッショナルコースについて

加藤幹事より2019年2/2,3に「改正労働安全衛生法で何が変わるか？」というテーマで開催し、盛会に終わったことが報告された。黒崎幹事より、案内は学会メルマガを利用する案が出され、医部会員のメリットを担保した形で検討することとなった。

⑦医部会報について（編集委員会）(資料12)

谷山幹事より、65号が12月に1600部発送済であること、66号について現在編集がほぼ終わっていること等が報告された。

⑧各種委員会報告（生涯教育、政策法制度、その他）

生涯教育委員会について宮本副部長より、GPS選定作業が終わったこと、レベルが低い投稿も散見され、リジェクト事例もあったこと等が報告された。また医部会員からの応募の要望があった。

ダイバーシティ推進委員会について斎藤(恵)幹事より、委員会が設立され、西委員長のもと、男女共同参画を中心とした会員への周知企画の推進、ニーズの確認、ホームページ立ち上げ、関連団体との連携などの活動報告があった。

⑨全国協議会について

4部会合同シンポジウムが企画されており、医部会からの発表者として伊藤幹事が指名され、了承された。

⑩理事会報告

宮本副部長より、理事会からの経団連、日経連、医師会などとのステークホルダーとの対話時、医部会からも提案事項を提出するよう要望された。

⑪四部会長会議報告

斉藤部会長より、今回の選挙の結果、技術部会、歯部会員が理事会に不在となり、部会の意見をどのように反映していくか、今後検討が必要であることが報告された。

⑬各地方会活動報告

福本幹事より、関東地方会から産業医ガイドを改訂して9月の全国協議会に向けて作業中であることが報告された。

以上